

11 社会資本の適切な維持管理に必要な予算の確保について

【国土交通省、農林水産省、財務省】

《提案・要望事項》

- 1 道路施設の維持修繕を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。
- 2 県管理ダムの堆砂対策が喫緊の課題であり、必要な予算を確保し、一層の技術的・財政的支援を行うこと。
- 3 公園施設の更新及び改修を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。
- 4 下水道施設の持続的な維持管理のため、ストックマネジメント計画に基づく老朽化施設改築更新費を確保し、持続的かつ安定的な下水道管理経営が行えるよう、適切な財政支援を行うこと。
- 5 砂防・治山施設の維持管理を適切かつ計画的に実施するために必要な予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。

《社会基盤施設の老朽化》

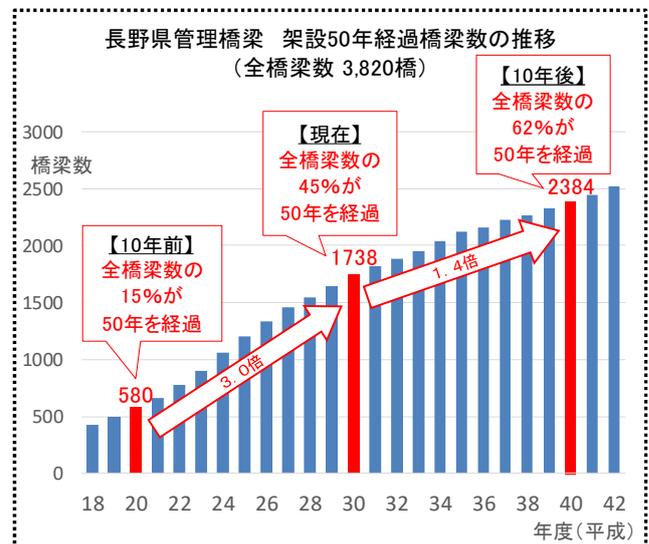
我が国の社会基盤施設は高度成長期に集中的に整備された経緯から急速に高齢化が進んでおり、平成 29 年度国土交通白書によると建設後 50 年を経過する施設が、平成 45 年には道路橋の約 67%、トンネルの約 50%、河川管理施設（水門等）の約 64%に達する見込みであるなどその対策が急務となっており、適切かつ計画的な維持管理・更新を進めて行くための財源及び予算を確保することが地方公共団体にとって大きな課題となっている。

【長野県の現況・課題】

1 道路施設の老朽化対策について

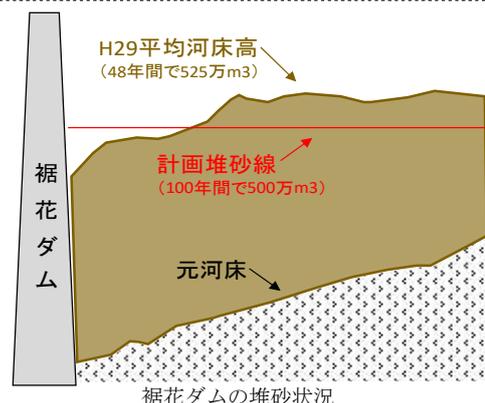
平成 26 年度から義務付けられた橋梁・トンネル等の法定点検は 30 年度で一巡目が完了予定。現在までの点検結果によると、橋梁では約 22%が「早期に措置を講ずべき状態」となっており、今後 5 年間で、県管理橋梁の約 840 橋もの修繕が必要になると想定される。

今後さらにインフラの高齢化率が高まるため、適切な維持管理・更新の費用確保が大きな課題となっている。



2 県管理ダムの堆砂対策について

本県管理ダムのうち、松川ダム、裾花ダム、奥裾花ダム、湯川ダムでは、度重なる出水により計画堆砂容量を越えて堆砂が進行し、治水・利水機能の確保が困難となっており、特に裾花ダムでは流出土砂によって排水ゲートが動かなくなる事故が発生するなど、堆砂対策の推進が喫緊の課題となっている。



堆砂対策は、技術的難易度が高く多額の費用を要することから、国の技術的・財政的支援の拡充が必要である。

3 公園施設の老朽化対策について

都市公園においては、県および県内14市町村において公園施設老朽化対策を含む都市公園の整備を行っているが、必要な財源が不足し、計画的な安全・安心対策が実施できていない状況である。

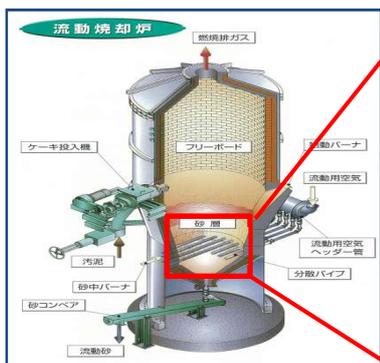
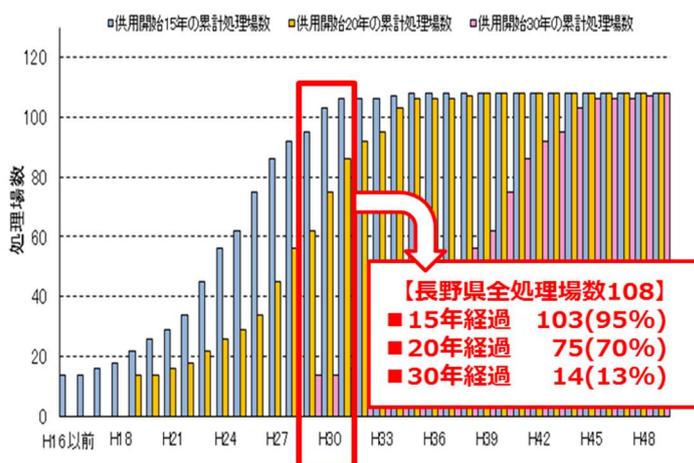


排水ゲート閉塞状況 (H29.8 裾花ダム)

遊具の老朽化状況

4 下水道施設の老朽施設改築更新費の確保について

下水処理場は代替がきかないため、故障時は日常生活や社会活動に重大な影響を与えると共に、河川・湖沼等の公共用水域の水質悪化を招く恐れがある。県内の処理場は108(全国第3位)あり、約7割の処理場が設備の耐用年数を超え老朽化している。施設の改築更新には多大な費用を要することから、国の財政支援が必要不可欠である。



流動焼却炉の炉内剥落状況

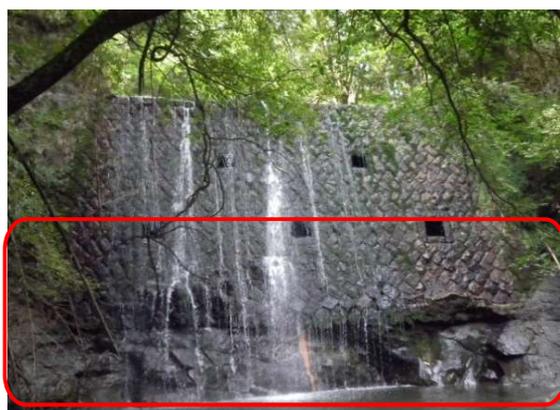


下水管の硫化水素による腐食状況

5 砂防・治山施設の老朽化対策について

県内に整備されている砂防、地すべり、急傾斜の施設は19,000、治山施設は25,000を超えている。現在の構造基準に合致しない古い施設は、著しく損傷度合いが高く、適切な維持管理を実施するため、国からの財政的支援が必要となっている。

(県所管部局) 環境部、林務部、建設部



砂防堰堤の基礎洗掘